

Introduction

① 必要教材

→教科書（山川を推奨）、用語集、一問一答（東進ブックス又は山川を推奨）

② 授業の進め方

→予習を前提にした講義を行いますので、教科書の該当範囲を通読し太字の単語は最低限暗記してから望むようにしてください。一問一答の該当範囲にも目を通しておくとよりグッドです。授業はプリントを使いますので、事前に印刷しておいてください。**板書は最低限しかしないので、必要だと思ったことはメモを採ること！**

③ 授業のレベル

→基本的にセンターレベルの話から難関国私立まで幅広くカバーする予定ですが、**通史を敷衍的に講義する学校型の授業を行う予定はありません。私の授業はあくまでも皆さんの自学自習の一助になるように、思考方法や工夫の仕方を説明するものです。**マナビーには多くの先生方がいらっしゃいますから、そのような授業を望む生徒は他の先生の授業を受けることをお勧めします。

④ 世界史についての理解

→世界史は暗記型教科です。高校の社会は暗記ではないとおっしゃる方もいらっしゃいますが、それは大きな間違いです。入試に合格するには用語集に掲載されている単語の全てを正確に暗記する必要があります。ところが、これはあまりに膨大な量となってしまいます。**そこで、世界史における学力を定義すると、効率的かつ体系的に歴史的事象を暗記するための思考回路を有すること、になります。**これは皆さんの努力のみで達成することは非常に困難です。この部分について、私がお手伝いすることになると思います。

⑤ 入試における世界史

・センター試験

100点満点。例年日本史より受験者は少なめ。

・私大

文系の生徒は多くの場合日本史 or 世界史を選択。（地理や倫政で受験できる大学も少数ながら存在）

日本史が狭く深い知識を要求されるのに対し、世界史は広く浅い知識を要求されるケースが多いが、難関私大では指導要領を逸脱した細かい知識が問われるので、対策が不可欠。

社会科目は英国に比べ配点が低いことがほとんどなので、まずは英国を固めるべきである。

・国立

文系の生徒は私大の場合と同じ。国立大学の多くが200字を超える論述問題を課していることからわかるように、時代ごとの特徴を大まかにとらえたり、多くの知識の中から必要な要素を取捨選択したりする能力が求められる。過去問を研究して、教師に添削を求めるのが攻略の近道（通例、センター後でも十分間に合います）。

⑥ 添削や質問

マナビーのサイトでも、個人宛でも ok 添削は随時受け付けます。

soutathesouta@yahoo.co.jp

東京大学文科一類 大村壮太